

朝日生のたまり場「喫茶白樺」

授業やテストの疲れを癒したり、友達と取り留めのない話をしたり。昭和44年に入学した僕らにとってそうした特別なたまり場のひとつが「喫茶白樺」だった。

その店が有ったのは岡山市北区表町のオランダ通り。入り口を入れて二階に上がると素朴な木のテーブルと椅子が並ぶ。テーブルにはそれぞれにランプシェードを付けたスタンドが置いてあり、椅子には手作りとも思える小さくてかわいい座布団が載っていた。座れば少し置いて白いワイシャツに黒い蝶ネクタイのウェイターさんがやって来る。

コーヒー一杯140円だったのだろうか。その一杯で2時間でも3時間でも居て良かった。フロアのそこここにも朝日の制服の仲間やカップルの姿が有る。忘れられない青春の光景。そのたまり場、喫茶白樺が姿を消すと聞いたのは就職して後、昭和50年代半ばだったように思う。

(昭和47年卒 小松原貢)



プリクラ、補講、そして猫

高校3年生だった平成14年頃、岡山にも大規模な商業施設ができて始めました。学校帰りにそういうところに寄った同窓生も多いと思います。その中でこの時期爆発的に広がったのがプリクラでした。それまで写真と言えば大抵修学旅行や校外学習の際の記念写真的なものばかりでした。しかし、プリクラの登場で友達や恋人と撮影して、その場で写真を分けられるようになりました。プリクラ専用の手帳(プリ帳)を用意して沢山貼っている女の子がいたのを覚えています。

3年生あたりからは授業が終わった後に補講が毎日あったように覚えています。一応自由参加だったのかな。友達とその補講をさぼって映画に行き、公園でダベっていたら子猫が纏わり付いて、結局連れて帰って飼いはじめました。その猫Qooは今でもうちで元気に暮らしています。

(平成14年卒 中塚啓太郎)



ちょっと悔しいご来光



朝日高に入学後、クラスの枠を超えた初めての学年単位の行事が富士登山です。希望者だけという事でしたが、かなりの生徒が参加したという記憶が有ります。行きの新幹線では、初めて挑む日本最高峰富士山登頂への意気込みを胸に、普段の制服姿とは異なる雰囲気を見せる私服姿の同級生たちと妙にテンション高く過ごしました。

バスで5合目に到着。渡された金剛杖を手に、新幹線内のハイテンションと若さで元気よく登山を開始したものの、次第に険しくなる登山道につれて徐々に笑顔も口数も減少…それでも互いに励ましあいながら宿泊予定の山小屋のある8合目まで登りました。

翌朝は日の出前に出発して山頂でご来光を拝む予定でしたが、あいにくの強風で登頂を断念。もやもやと消化不良の気持ちを抱いたまま下山しました。

それでも後日、なぜか登頂証明書は頂くことができました。今も保存してある、そのなんちゃって登頂証明書を手に取ると、山頂までたどり着けなかった少しの悔しさとともに、8合目の山小屋前のテラスからご来光を拝んだこと、下山後の温泉がとても気持ち良かったことを思い出します。

(平成15年卒 溝部(旧姓 佐藤)ちひろ)

大きさを競った仮装行列



朝日祭の目玉の一つが運動会。その運動会のさらに目玉が仮装行列でした。3年生になって夏休みが近付くと話題に上るのがこの仮装行列です。仮装行列と言っても今のようにならなくなった衣装やダンスの鮮やかさを競うのではなく、行列が引っ張る出し物で目を引こうと言うのです。

どんなものを作ろうか、今年の流行は何か。あれこれ話し合い、時には隣のクラスに偵察に行ったりしながら決めるのですが、一番プレッシャーになるのが前の年の3年生が作った出し物でした。それを越えよう、越えなければ劣っているように思われる。そんな強迫観念からか出し物は毎年巨大化し、校舎の3階まで届くような自由の女神やマジンガーZ、宇宙戦艦ヤマトまで現れました。しかも単に大きだけでなく、火を吹いたり煙を吐いたりして観客を沸かせたのです。でもやり過ぎの感が募って規制が掛かってしまいました。ちょっと残念です。

(昭和47年卒 小松原貢)